

2022年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（後期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（ 日本古典文化論 ） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ _____ ）
出題の意図	<p>問題一は、日本古典文学・文化研究に関わる分野から、その文学史・文化史的、あるいは、文献学・国語史的問題に関する理解と知識を質すとともに、文章読解能力および論述能力をもあわせみるものである。</p> <p>問題二は、日本古典文学研究の根幹となる作品読解能力を問うものである。また、原資料を取り扱う能力をみるために変体仮名の翻字も課す。</p>

2022年度
北海道大学大学院文學院修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 日本古典文化論 全3枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 3枚、解答用紙 2枚を配付する。

問題1

次の文章は伊原昭『色くのことばをのこしたい』の1節である。読んで各自の観点から自由に論ぜよ。

*問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究院教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 伊原昭著『色くのことばをのこしたい』『古典文学と色彩』（笠間書院、2011年1月、92頁～95頁）

問題二

次の文献を見て、後の設問に答えよ。

此の日記は、『源氏物語』の成立に
 関する重要な資料である。その
 成立の経緯は、『源氏物語』の
 成立の経緯と密接な関係にある。
 『源氏物語』の成立は、『源氏物語』
 の成立の経緯と密接な関係にある。
 『源氏物語』の成立は、『源氏物語』
 の成立の経緯と密接な関係にある。
 『源氏物語』の成立は、『源氏物語』
 の成立の経緯と密接な関係にある。
 『源氏物語』の成立は、『源氏物語』
 の成立の経緯と密接な関係にある。

問一 『』部分のくずし字を翻字せよ。

問二 この作品の特質や文学史的意義等について、自由に論述せよ。